I·O DATA

オートバックアップ

Easy Saver

E-SAV

イージーセーバー

取扱説明書



150262-01

もくじ

EasySaverとは？ …… 1
本書での呼び方 …… 3
必ずお守りください …… 4

お使いになる前に

EasySaverの動作環境 …… 6
箱の中には …… 7

使ってみる

インストールと起動方法 …… 9
EasySaverをインストールする …… 9
EasySaverを起動する …… 12
EasySaverをタスクトレイにアイコン表示させる …… 13
EasySaverを終了する …… 14
バックアップ方法いろいろ …… 15
おまかせバックアップ …… 17
バックアップジョブを新規作成する …… 20
バックアップジョブを開く …… 28
バックアップジョブを設定する …… 30
バックアップジョブ対象のファイルを選別する …… 34
バックアップしたデータをリストア（復元）する …… 37

ふろく

バックアップジョブの画面について …… 41
EasySaverの削除 …… 44
困ったときには …… 45

お問い合わせ …… 48

EasySaver とは？

EasySaver（イージーセーバー）は、手軽に手間なくバックアップできるユーティリティソフトです。
簡単な操作でフォルダやファイルを登録し、自動またはマニュアルでハードディスクや MO、DVD-RAM などに大切なデータをバックアップできます。
万一のデータの破損や誤消去に備えることができます。

※MO、DVD-RAM などにバックアップする場合は、あらかじめご利用になる OS でアクセスできるフォーマット形式で初期化しておいてください。

※ドライブの起動管理領域（MBR）のバックアップには対応しておりません。本製品を用いてのシステムバックアップ・リストアは行えません。

主な機能には以下のものがあります。

【フルバックアップ】

バックアップ対象のフォルダやファイルを、常にすべてバックアップします。
万一、バックアップしたデータの一部が破損した場合でも、被害を最小限に抑える事ができますが、より多くのディスクスペースを必要とします。

【差分バックアップ】

バックアップ対象のフォルダやファイルの内、前回のバックアップ以降に変更されたファイルのみをバックアップします。
変更されたもののみバックアップしますので、フルバックアップに比べて高速にバックアップできるほか、ディスクスペースも節約できます。

【スケジュール機能】

あらかじめ登録されたバックアップ対象を、指定された日時／間隔等のスケジュールに従って、自動的にバックアップを実施します。
いったんスケジュールを登録すれば、それ以降はバックアップの実施を意識する必要がありませんので、確実にバックアップを実施する事ができます。

【自動バックアップ】

バックアップ対象フォルダ／ファイルが変更された場合に、自動的にバックアップを実施します。

【バックアップデータの圧縮保存】

バックアップデータを圧縮して保存します。
バックアップデータのサイズを縮小し、ディスクスペースを有効に活用する事ができます。

【バックアップデータの分割保存】

バックアップデータが一つのディスクに収まらない場合でも、複数のディスクに分割してバックアップする事ができます。

【バックアップ履歴管理機能】

バックアップデータは、バックアップを実施した日時と共に管理されますので、リストア時には過去にバックアップを実施した日時の中からお好きな日時を選択して、その時の状態に復元する事が可能です。

本書での呼び方

呼び方	意　味
リムーバブルメディア	MOディスク、DVD-RAM、Zip、スーパーディスク、PD、USBメモリなど
本ソフト	EasySaver
Windows XP	Microsoft® Windows® XP Home Edition Operating System, Microsoft® Windows® XP Professional Operating System
Windows 2000	Microsoft® Windows® 2000 Professional Operating System
Windows Me	Microsoft® Windows® Millennium Edition Operating System
Windows 98	Microsoft® Windows® 98 Operating System および Microsoft® Windows® 98 Second Edition Operating System の総称
Windows Me/98	Windows Me, Windows 98の総称
Windows	Windows XP, Windows 2000, Windows Me/98の総称

必ずお守りください

ここでは、お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。
ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。
This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.

警告および注意

⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人体に多大な損傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性又は物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵記号の意味

△ この記号は注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例） 「発火注意」を表す絵表示

⃠ この記号は禁止の行為を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例） 「分解禁止」を表す絵表示

● この記号は必ず行っていただきたい行為を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例） 「電源プラグを抜く」を表す絵表示

⚠ 警告


厳守

本製品を使用する場合は、ご使用のパソコンや周辺機器のメーカーが指示している警告、注意表示を厳守してください。

⚠ 注意


注意

本製品を使用中にデータなどが消失した場合でも、データなどの保証は一切いたしかねます。


禁止

本製品は以下のような場所で保管・使用しないでください。

破損の原因となることがあります。

- ●振動や衝撃の加わる場所
- ●直射日光のあたる場所
- ●湿気やホコリが多い場所
- ●温度差の激しい場所
- ●熱の発生する物の近く（ストーブ、ヒータなど）
- ●強い磁力電波の発生する物の近く
  （磁石、ディスプレイ、スピーカ、ラジオ、無線機など）
- ●水気の多い場所（台所、浴室など）
- ●傾いた場所
- ●腐食性ガス雰囲気中（CI_2、H_2S、NH_3、SO_2、NO_Xなど）
- ●静電気の影響の強い場所


禁止

以下の注意をしてください。

- ●落としたり、衝撃を加えない
- ●本製品の上に水などの液体や、クリップなどの小部品を置かない
- ●重いものを上にのせない
- ●本製品のそばで飲食・喫煙などをしない


注意

本製品は、日本国内仕様です。

本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、およびアフターサービスなどを行っておりません。あらかじめ、ご了承ください。

お使いになる前に

EasySaver の動作環境

EasySaver は以下の環境でお使いになれます。

対応機種	対応 OS
・PC98-NX シリーズ ・DOS/V マシン(OADG 加盟メーカー)	・Windows XP ・Windows 2000 ・Windows Me ・Windows 98(SE 含む)※

※Windows 98(SE 含む)では、Internet Explorer 5 以上が必要です。

■CPU……Pentium Ⅲ 450MHz 以上推奨

■メモリー……128MB 以上推奨

■インストールに必要な空き容量……10MB 以上

（別途バックアップ用の空き容量が必要です。）

■対応メディア……ハードディスク、MO、DVD-RAM 等



注意！

EasySaver でバックアップおよびリストア中は、スタンバイ／休止／スリープなどの省電力モードにすることはできません。

箱の中には

箱の中には以下のものが入っています。

☐にチェックをつけながら、ご確認ください。

万が一不足品がございましたら、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

☐ EasySaver(1枚)[CD-ROM]



☐ Ver シール(1枚)

シリアル番号が記載されています。

☑ EasySaver 取扱説明書(1冊)[本書]

☐ ソフトウェア製品使用許諾条件書(1枚)

注意！

添付の CD-ROM は大切に保管してください

添付の CD-ROM を紛失した場合の対応はいたしかねます。

あらかじめご了承ください。。

参考

箱・梱包材は大切に保管し、修理などで輸送の際にお使いください。

ユーザー登録やダウンロードにはシリアル番号が必要

▼ここに本製品に添付されている Ver シールを貼ってください。

Ver シールに記載してあるシリアル番号は、ユーザー登録やサポートソフトのダウンロードの際に必要です。

・ユーザー登録　⇒http://www.iodata.jp/regist/

・ダウンロード　⇒http://www.iodata.jp/lib/

使ってみる

インストールと起動方法……9
バックアップ方法いろいろ……15
おまかせバックアップ……17
バックアップジョブを新規作成する……20
バックアップジョブを開く……28

インストールと起動方法

EasySaver をパソコンにインストールし、起動してみましょう。

注意！

Windows XP および Windows 2000 では、コンピュータの管理者のアカウント（Administrator 権限）でログオンしてください。

EasySaver をインストールする

1 「EasySaver」CD-ROMをCD-ROMドライブにセットします。

⇒自動的にCDメニューが表示されます。

参考

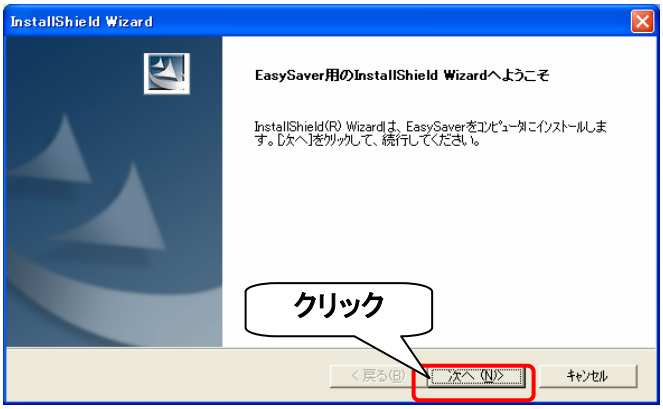
自動的に CD メニューが表示されない場合は・・・

「EasySaver」CD-ROM の中にある［AUTORUN］アイコンをダブルクリックしてください。

2 ［インストール］をクリックします。

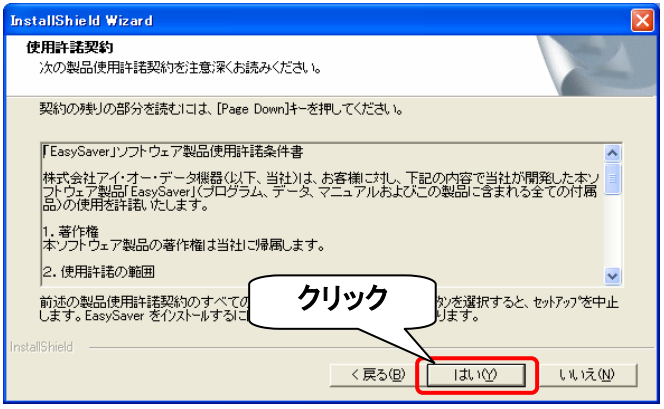


3 [次へ]をクリックします。



4 同意する場合は、[はい]をクリックします。

→インストールを開始します。



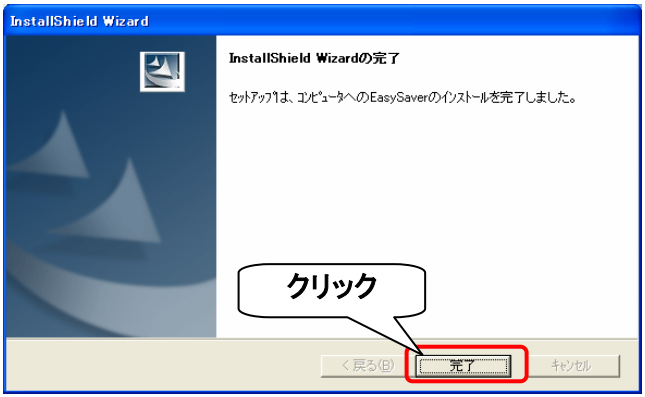
注意！

使用許諾契約について

上記画面は、使用許諾契約です。

本ソフトをインストールするには同意が必要です。

5 [完了]をクリックします。



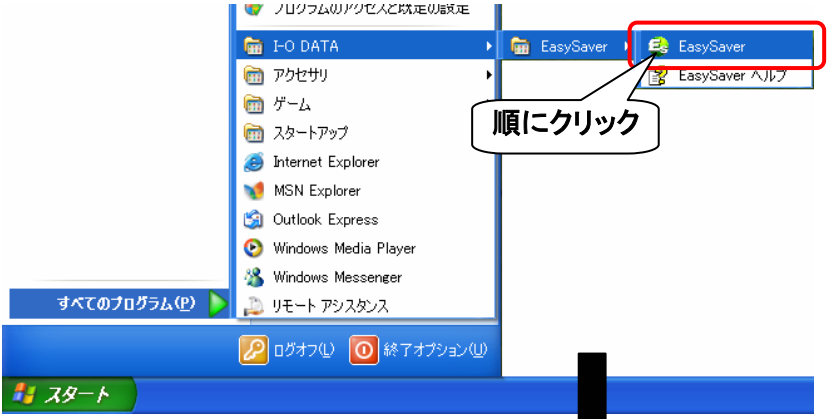
以上で、EasySaver のインストールは完了です。
次ページへお進みください。

EasySaver を起動する

インストールした EasySaver は[スタート]メニューから起動できます。

[スタート]→[(すべての)プログラム]→[I-O DATA]→
[EasySaver]→[EasySaver]を順にクリックすれば
[EasySaver]の起動画面が表示されます。

▼画面はWindows XPでの例です。





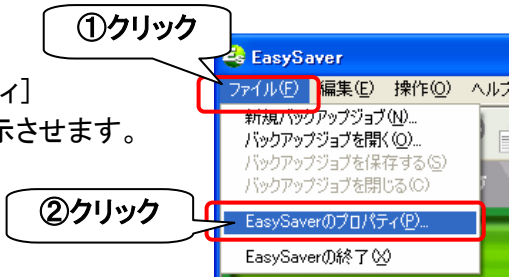
EasySaver をタスクトレイにアイコン表示させる

EasySaver のプロパティで、スケジュールバックアップや自動バックアップ設定時に、タスクトレイにアイコンを表示させる設定を行うことができます。

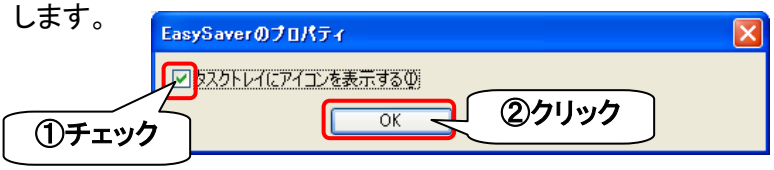
注意！

- **スケジュールバックアップ・自動バックアップを設定していない場合には、以下の設定を行ってもアイコンは表示されません。**
  （スケジュールバックアップ・自動バックアップについては、【バックアップジョブを設定する】30 ページ参照）
- **以下の表示する・しないの設定に関わらず、スケジュールバックアップ・自動バックアップの設定を行うと、EasySaver が常駐します。**

1 [ファイル]メニュー→[EasySaverのプロパティ]でプロパティ画面を表示させます。



2 [タスクトレイにアイコンを表示する]にチェックし、[OK]をクリックします。



3 スケジュールバックアップ・自動バックアップを設定している場合には、タスクトレイに アイコンが表示されます。



EasySaver を終了する

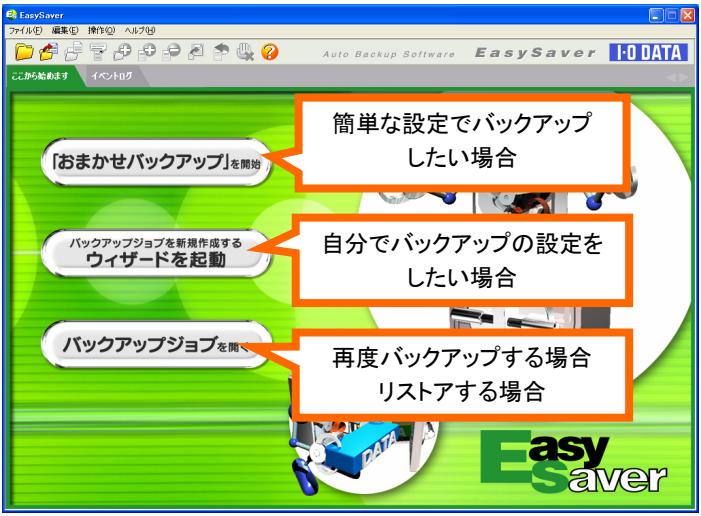
EasySaver は以下の手順で終了することができます。

［ファイル］メニュー→［EasySaverの終了］でEasySaverを終了できます。



バックアップ方法いろいろ

EasySaver では、自分でバックアップの設定を行えるのはもちろん、面倒な設定なしでメールデータなどのバックアップが行える「おまかせバックアップ」も用意しています。



おまかせバックアップ	簡単な設定でバックアップしたい場合にクリックします。 【おまかせバックアップ】(17 ページ)参照
ウィザードを起動	バックアップするフォルダやファイルを自分で設定したい場合にクリックします。 【バックアップジョブを新規作成する】(20 ページ)参照
バックアップジョブ	バックアップジョブを開いて、再度バックアップする場合やリストアする場合にクリックします。 【バックアップジョブを開く】(28 ページ)参照

参考

バックアップジョブとは・・・

EasySaver では、バックアップは「バックアップジョブ」という単位で管理されています。まず最初に、バックアップしたいフォルダやファイル、バックアップ先のドライブ、必要に応じてスケジュールなどを指定してバックアップジョブを作成します。それ以降はバックアップジョブを指定してバックアップを行います。バックアップジョブはいくつでも作成することができます。スケジュールなどの設定もバックアップジョブごとに設定できます。

注意！

弊社製 EasyDisk、HDMX/HDPX シリーズ（ライトプロテクト時）など、Windows からリムーバブルディスクとして認識されるデバイス（リムーバブルメディアを使用しないタイプのみ）にバックアップする場合、デバイスの空き容量がバックアップに要する容量より少ない場合はバックアップできません。

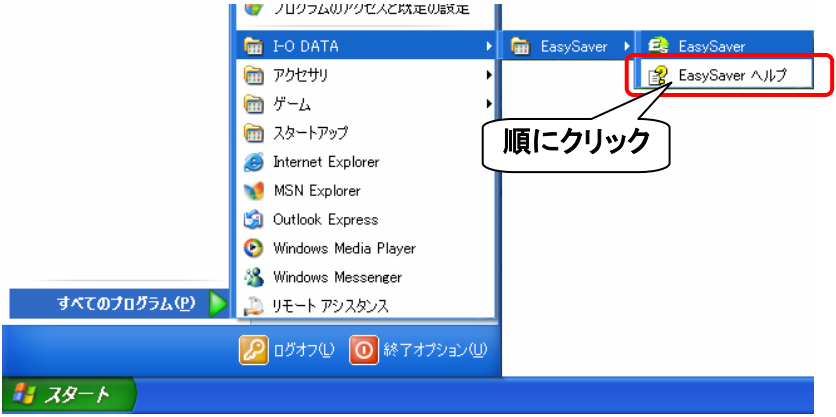
注意！

EasySaver でバックアップおよびリストア中は、スタンバイ／休止／スリープなどの省電力モードにすることはできません。

参考

EasySaver ヘルプもご利用ください

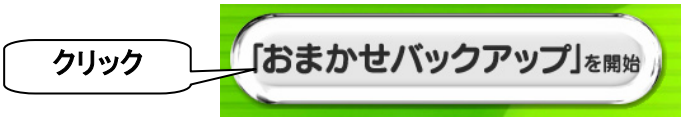
EasySaver の詳細については、「EasySaver ヘルプ」をご覧ください。
「EasySaver ヘルプ」は以下を順にクリックして起動できます。
[スタート]→[（すべての）プログラム]→[I-O DATA]→[EasySaver]→[EasySaver ヘルプ]



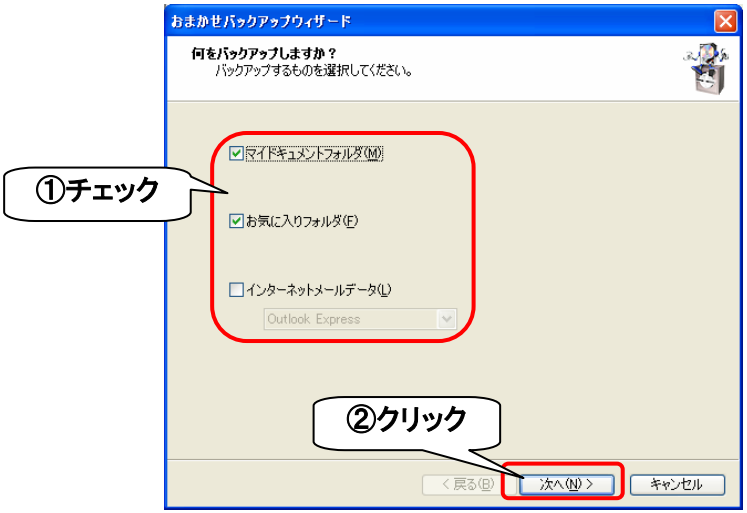
おまかせバックアップ

EasySaver 起動画面の[おまかせバックアップ]では、お使いのパソコンの「マイドキュメントフォルダ」「お気に入りフォルダ」「インターネットメールデータ」を簡単にバックアップすることができます。

1 起動画面の[おまかせバックアップ]をクリックします。



2 バックアップするフォルダやデータをチェックします。
チェック後、[次へ]をクリックします。

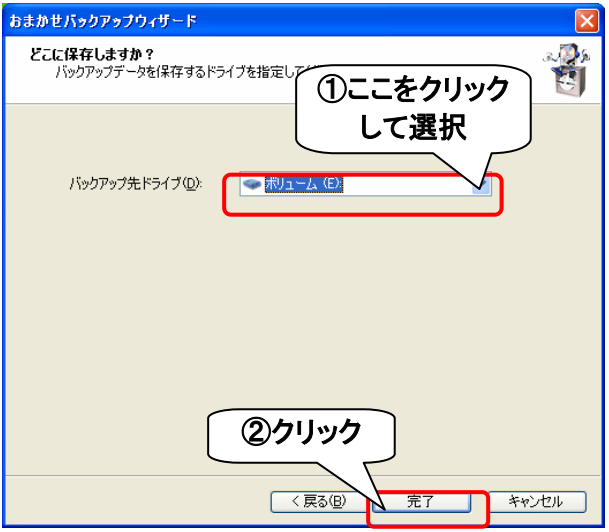


マイドキュメントフォルダ	「マイドキュメント」フォルダ内のフォルダやファイルをバックアップします。
お気に入りフォルダ	Internet Explorer の「お気に入り」をバックアップします。
インターネットメールデータ	Outlook Express または Becky!のメールデータをバックアップします。

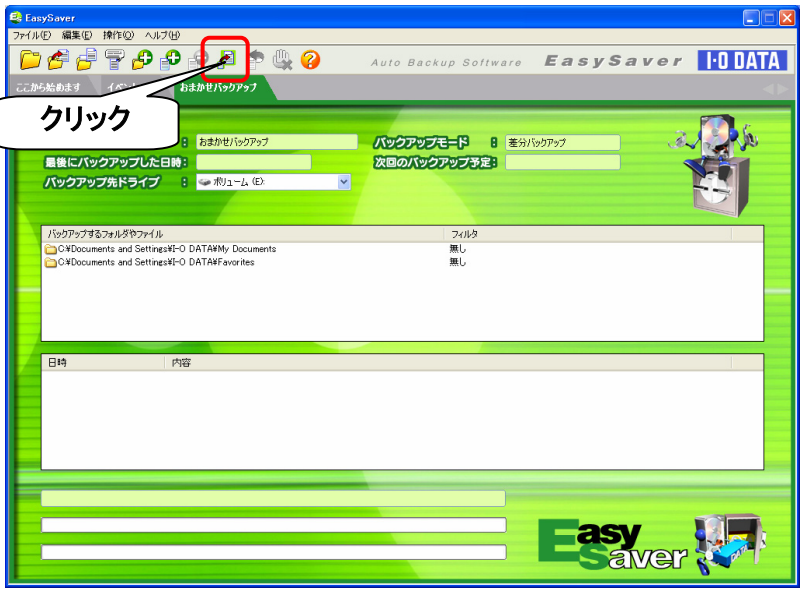
注意！

Windows XP/2000 では、ログオンしたユーザーのフォルダおよびファイルが対象となります。

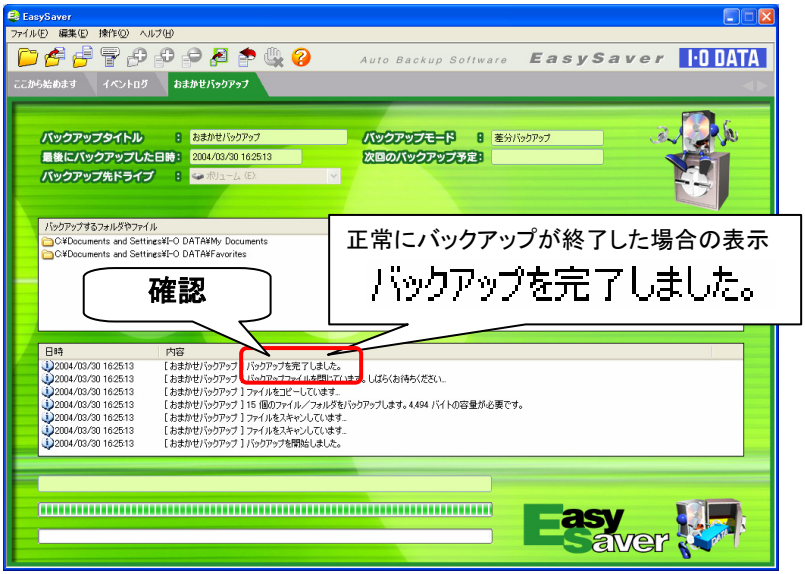
3 ［バックアップ先ドライブ］を選択し、［完了］をクリックします。



4 （バックアップ）をクリックすれば設定した内容でバックアップを開始します。



5 バックアップが正常に終了すると、画面下に「バックアップが完了しました。」と表示さます。



以上で「おまかせバックアップ」は終了です。

注意！

正常にバックアップが終了しない場合、バックアップ対象のファイルやフォルダが他のアプリケーションなどで使用されている可能性があります。
そのような場合は、使用しているアプリケーションを終了して再度バックアップを行ってください。

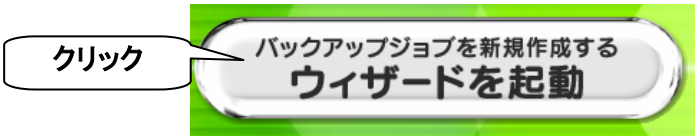
バックアップジョブを新規作成する

他のドライブや[マイドキュメント](My Document)フォルダ以外にデータが保存されている場合はこちらを選びます。
あらかじめ、バックアップしたいファイル、データがどこにあるかアプリケーション等の取扱説明書でご確認ください。

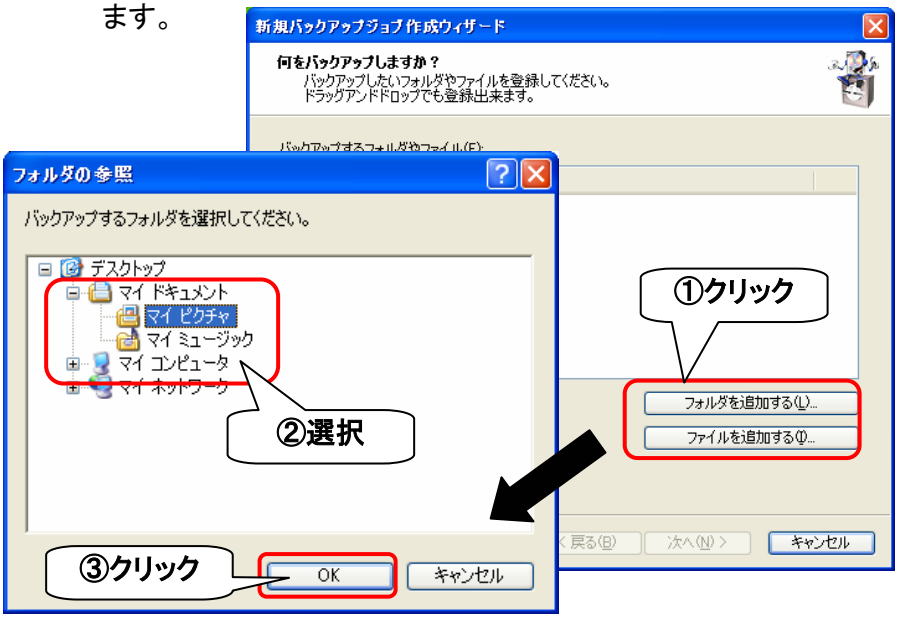
注意！

弊社では、アプリケーション等のバックアップしたいファイル、データがどこにあるかについては、お答えできません。

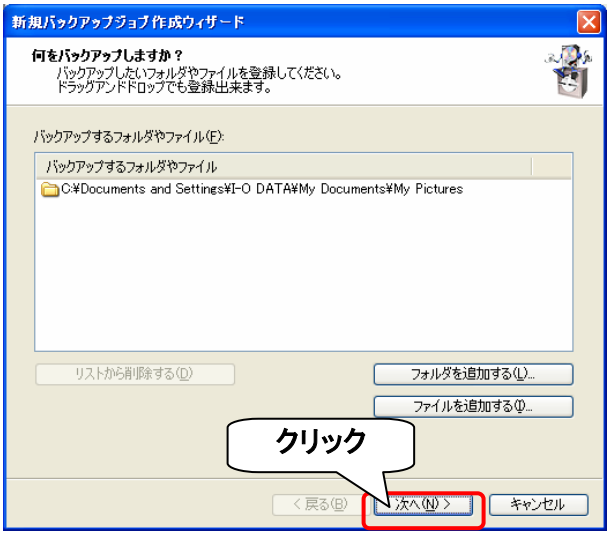
1 起動画面の[ウィザードを起動]をクリックします。



2 バックアップするフォルダやファイルを指定します。
[フォルダを追加する][ファイルを追加する]をクリックし、設定します。



3 [次へ]をクリックします。



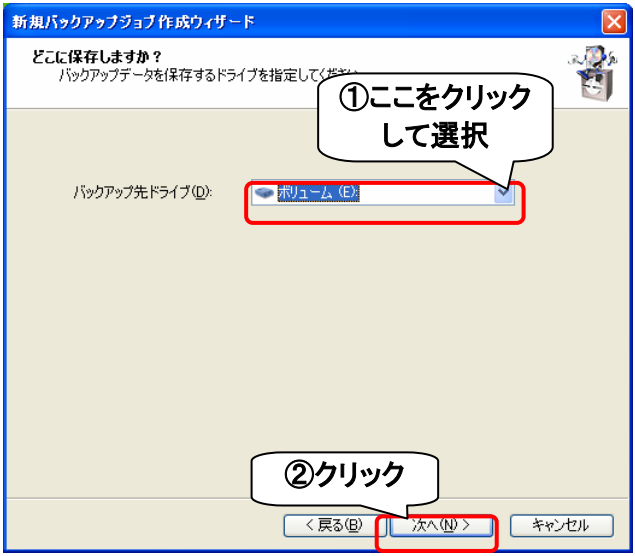
注意！

ショートカットアイコン（拡張子が .lnk のファイル）をバックアップする際には、別途エクスプローラやデスクトップ上から直接ドラッグアンドドロップで登録してください。

参考

エクスプローラなどでバックアップしたいファイルやフォルダを直接ドラッグアンドドロップで登録することもできます。

4 [バックアップ先ドライブ]を選択し、[次へ]をクリックします。

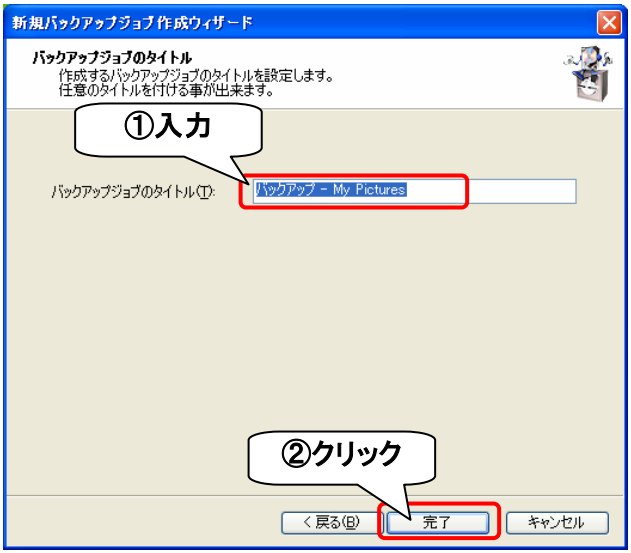


5 バックアップの動作オプションをチェック後、[次へ]をクリックします。

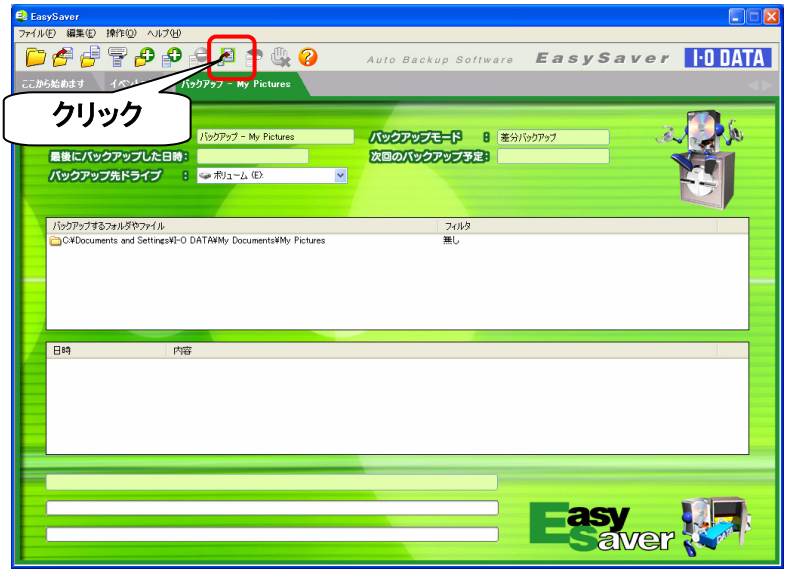


フルバックアップ	バックアップ対象のフォルダやファイルを常にすべてバックアップします。 万一バックアップしたデータの一部が破損した場合でも、被害を最小限に抑えることができます。 ただし、より多くのバックアップするためのディスクスペースを必要とします。 ※容量が小さなメディア(MO や Zip 等)に複数枚にわたってバックアップする場合は、こちらを選択してください。
差分バックアップ	バックアップ対象のフォルダやファイルのうち、前回バックアップし以降に変更されたファイルのみをバックアップします。 変更されたもののみをバックアップしますので、[フルバックアップ]に比べて高速にバックアップできるほか、ディスクスペースも節約できます。

6 [バックアップジョブのタイトル]を入力後、[完了]をクリックします。
「デジカメデータ」などわかりやすい名前でつけておくと便利です。

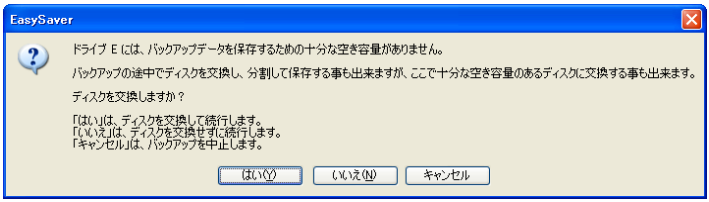


7 （バックアップ）をクリックすれば設定した内容でバックアップを開始します。



参考

バックアップ先に十分な空き容量がない場合は、以下の画面が表示されます。



以下のいづれかの方法を行います。

方法1：バックアップ先のメディアを交換する

バックアップ先のメディアを十分な空き容量のあるメディアに交換する方法です。

① バックアップ先のメディアを十分な空き容量のあるメディアに交換します。

② 交換後、上記画面の[はい]ボタンをクリックします

バックアップを続行します。

27ページの 8 の手順へお進みください。

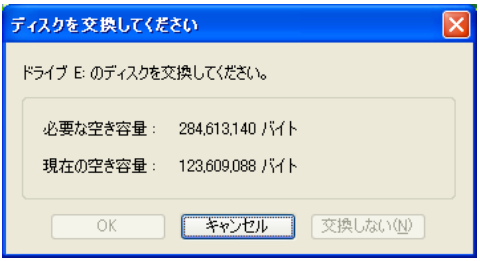
方法2：分割バックアップを行う

複数のメディアに分割してバックアップする方法です。

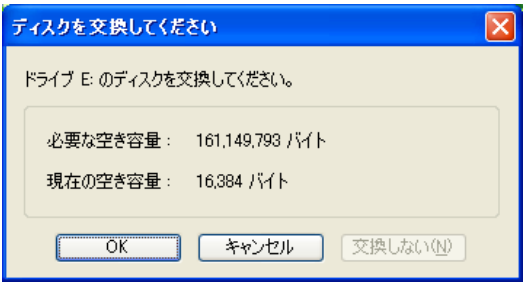
以下の手順および画面となります。

① 上記画面の[いいえ]ボタンをクリックします。
→バックアップを開始します。

② 途中で以下の画面が表示されます。
バックアップ先のメディアを交換します。

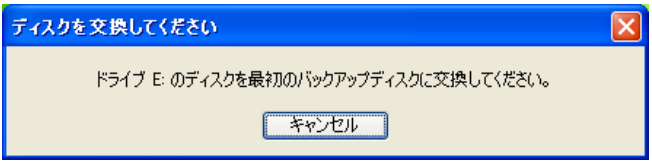


③ 交換後、以下の画面となります。
[OK]をクリックします。



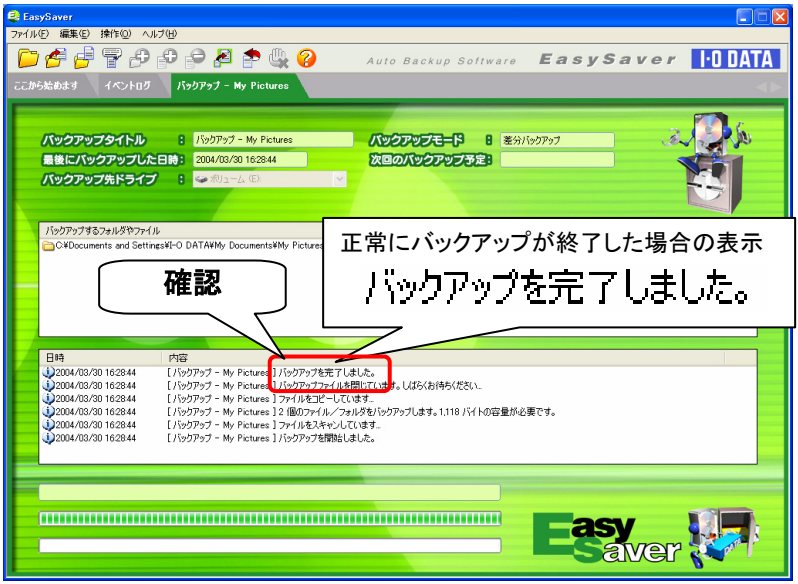
④ さらにバックアップ先の容量が足りない場合は、②、③ を繰り返します。

⑤ すべてのバックアップが終了すると、以下の画面が表示されます。
最初にバックアップしたメディアに交換します。



バックアップを続行します。
次ページの 8 の手順へお進みください。

8 バックアップが正常に終了すると、画面下に「バックアップを完了しました。」と表示さます。



以上で「ウィザードを起動」でのバックアップは終了です。

注意！

正常にバックアップが終了しない場合、バックアップ対象のファイルやフォルダが他のアプリケーションなどで使用されている可能性があります。
そのような場合は、使用しているアプリケーションを終了して再度バックアップを行ってください。

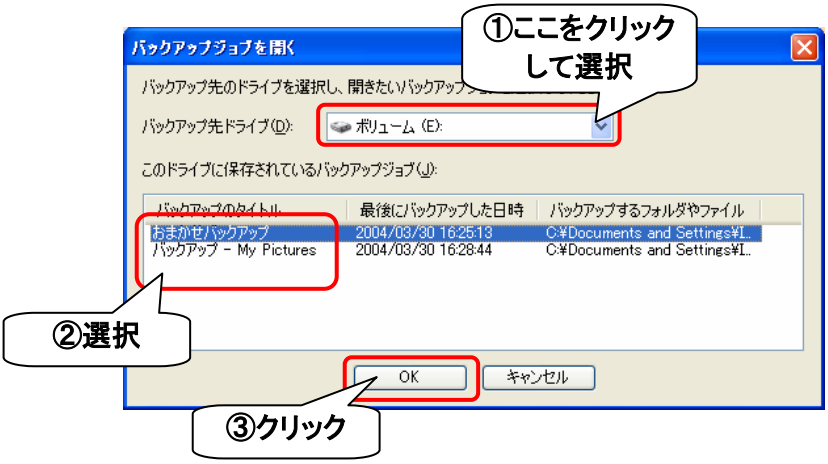
バックアップジョブを開く

EasySaver でのバックアップを一度でも完了していれば、バックアップジョブが作成されます。
EasySaver 起動画面の[バックアップジョブを開く]では、作成したバックアップジョブの再実行や、リストア、また、作成したバックアップジョブのスケジュールバックアップ設定や自動バックアップ設定、バックアップ対象とするファイルの拡張子の設定などさまざまな設定を行うことができます。

1 起動画面の[バックアップジョブを開く]をクリックします。



2 EasySaverで以前にバックアップしたことのあるドライブを選択します。
以前にバックアップしたバックアップジョブが表示されますので、選択後、[OK]をクリックします。

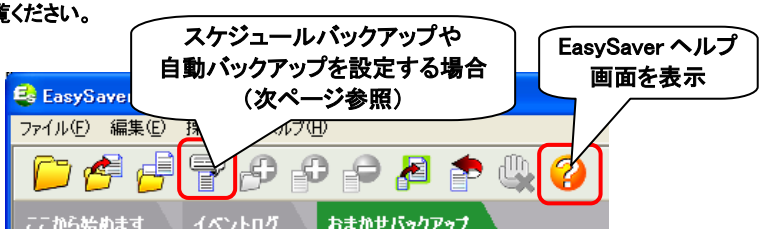


3 再度バックアップを行う場合は、（バックアップ）を、
リストア（復元）を行う場合は、（リストア）をクリックします。



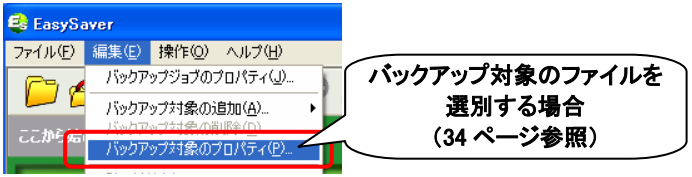
参考

（バックアップジョブのプロパティ）をクリックすると、スケジュールバックアップや自動バックアップの設定などのバックアップジョブの設定を行えます。（次ページ参照）
設定項目の詳細については、をクリックして、[EasySaver ヘルプ]を開き、「バックアップ」→「バックアップの設定を変更する」、「バックアップ」→「スケジュールを設定する」をご覧ください。



参考

[編集]メニューの[バックアップ対象のプロパティ]で、バックアップ対象とするファイルの拡張子によってバックアップするファイルを選別する設定をすることもできます。

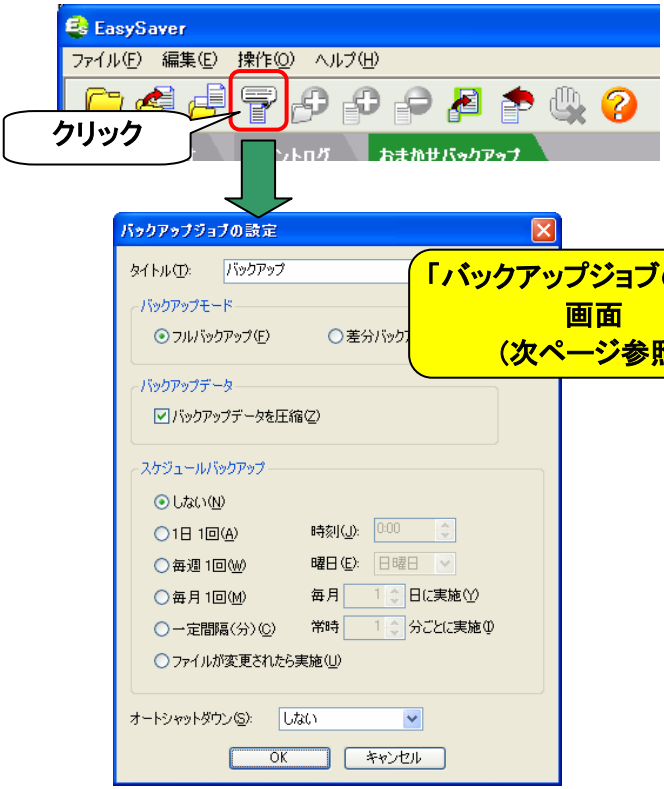


バックアップジョブを設定する

（バックアップジョブのプロパティ）でをクリックすれば、スケジュールバックアップや自動バックアップの設定などのバックアップジョブの設定を行えます。

（バックアップジョブのプロパティ）をクリックします。

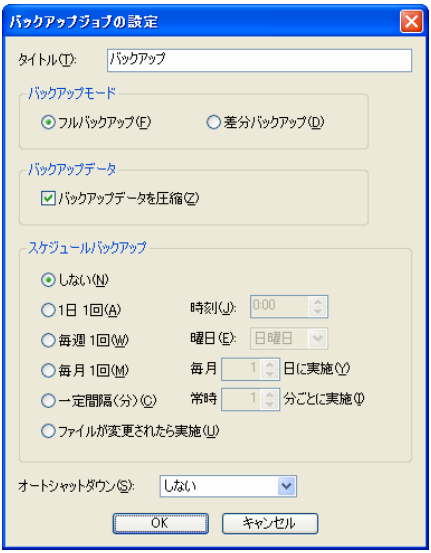
→[バックアップジョブの設定]画面が表示されます。



参考

スケジュールバックアップや自動バックアップを設定すると、EasySaver が常駐します。

○「バックアップの設定」画面の詳細



タイトル	バックアップジョブのタイトルです。
バックアップモード	このバックアップジョブのバックアップ方式を指定します。 *・フルバックアップ* バックアップ対象のフォルダやファイルを、常にすべてバックアップします。 万一、バックアップしたデータの一部が破損した場合でも、被害を最小限に抑える事ができますが、より多くのディスクスペースを必要とします。 *・差分バックアップ* バックアップ対象のフォルダやファイルの内、前回のバックアップ以降に変更されたファイルのみをバックアップします。 変更されたもののみバックアップしますので、フルバックアップに比べて高速にバックアップできるほか、ディスクスペースも節約できます
バックアップデータ	[バックアップデータの圧縮]にチェックすると、バックアップデータを圧縮して保存します。 バックアップデータのサイズを縮小し、ディスクスペースを有効に活用する事ができます。

スケジュールのバックアップ	指定されたスケジュールに従って自動的にバックアップを実施できます。***(スケジュールバックアップ機能)***	
	しない	スケジュールを設定しません。 このバックアップジョブを常に手動でバックアップする場合にはこれを指定します。
	1 日 1 回	毎日 1 回、指定された時間にバックアップを実施します。 「時刻」でバックアップを実施する時刻を指定してください
	毎週 1 回	毎週 1 回、指定された曜日／時間にバックアップを実施します。 「曜日」「時刻」でバックアップを実施する曜日と時刻を指定してください。
	毎月 1 回	毎月 1 回、指定された日／時間にバックアップを実施します。 「毎月～日に実施」「時刻」でバックアップを実施する日と時刻を指定してください。
	一定間隔	パソコンが起動している間、指定された間隔でバックアップを実施します。 「常時～日毎に実施」でバックアップを実施する間隔を分単位で指定してください。
	ファイルが変更されたら実施	バックアップ対象のフォルダ／ファイルが変更された場合に、自動的にバックアップを実施します。 ***(自動バックアップ機能)***



参考

スケジュールの延期について

スケジュールバックアップでは、EasySaver は次のような動作をします。
スケジュールで指定された時刻にバックアップを実施できなかった場合（パソコンに電源が入っていなかった、バックアップ先のドライブにメディアが入っていなかった、EasySaver を終了していた…等）、EasySaver は、そのスケジュールを一時延期し、バックアップが可能になり次第そのバックアップを開始します。
また、スケジュールが延期されている状態で、さらにその次のスケジュールも実行できなかった場合には、そのスケジュールはキャンセルされ、最初のスケジュールのみが待機します。
つまり、何度もスケジュールを実行できなかった場合でも、バックアップが可能になって実施されるバックアップは 1 回だけです。

オートシャットダウン	バックアップが完了した後、自動的にコンピュータをシャットダウンします。 この機能は、バックアップがスケジュールによって開始された場合には無効になります。スケジュールを設定してあるバックアップジョブでも、手動でバックアップを開始した場合は有効です。 指定できるシャットダウンの種類には、「シャットダウン」「スタンバイ」「休止状態」の3つがあります。 ***※ Windows Me/98 では、[シャットダウン]のみ指定できます。***

バックアップ対象のファイルを選別する

[編集]メニューの[バックアップ対象のプロパティ]で、バックアップ対象とするファイルの拡張子によってバックアップするファイルを選別する設定をすることもできます。

1 バックアップ対象リストで選別するファイルを選択後、メニューの[編集]→[バックアップ対象のプロパティ]をクリックします。

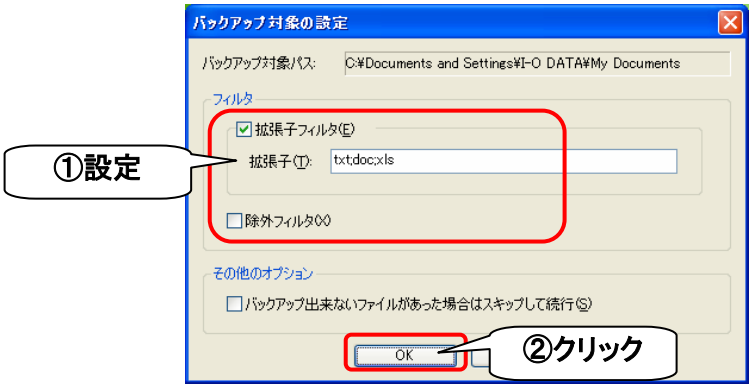


2 [拡張子フィルタ]にチェック後、[拡張子]欄にバックアップを選別するファイルの拡張子(3文字)を入力します。

※複数の拡張子を指定したい場合には、「;」(セミコロン)で区切って入力してください。

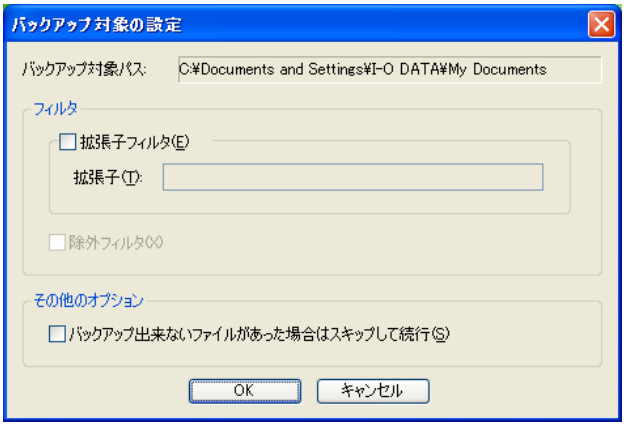
バックアップしたくないファイルを選別する場合は、[除外フィルタ]にチェックします。

設定後、[OK]をクリックします。



以上で設定は終了です。

○「バックアップ対象の設定」画面の詳細



フィルタ フィルタ	ファイルの拡張子によってバックアップファイルを選別する機能です。	
	拡張子 フィルタ	拡張子によってバックアップファイルを選別する場合にチェックします。
	拡張子	選別する拡張子(3 文字)を入力します。 例） A.txt ファイルの場合は txt の 3 文字 複数の拡張子を指定したい場合には、「;」(セミコロン)で区切って入力してください。
	除外 フィルタ	「バックアップしたくない」ファイルを設定する場合にチェックします。 上記で指定された拡張子を持つファイル「以外」のファイルがバックアップされるようになります。
その他の オプション	[**バックアップ出来ないファイルがあった場合にはスキップして続行**]をチェックすると、バックアップ中に、バックアップできないファイルが見つかった場合でも、エラー終了せずにそのファイルをスキップしてバックアップを続行するようになります。	



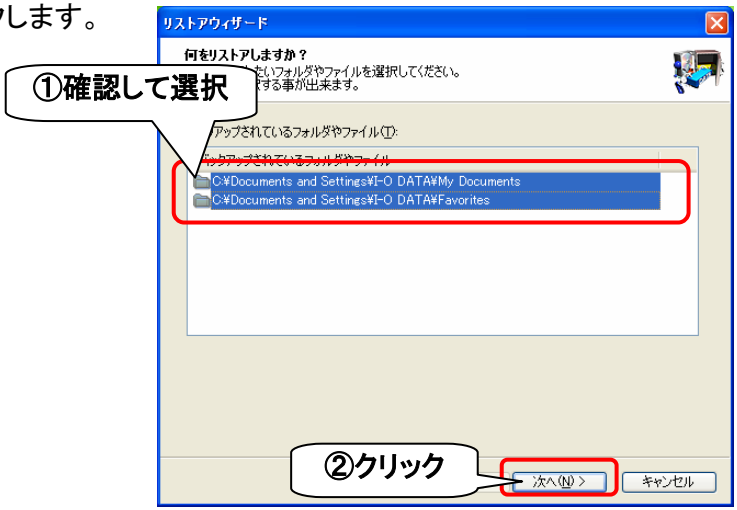
参考

一部のアプリケーションでは、使用中のファイルを他のアプリケーションから読み取られないようにロックする場合があり、そのようなファイルはバックアップする事ができません。
常時起動しているアプリケーションなどが使用するファイルを含むフォルダをバックアップしたい場合には、そういったファイルをスキップする事ができます。

バックアップしたデータをリストア（復元）する

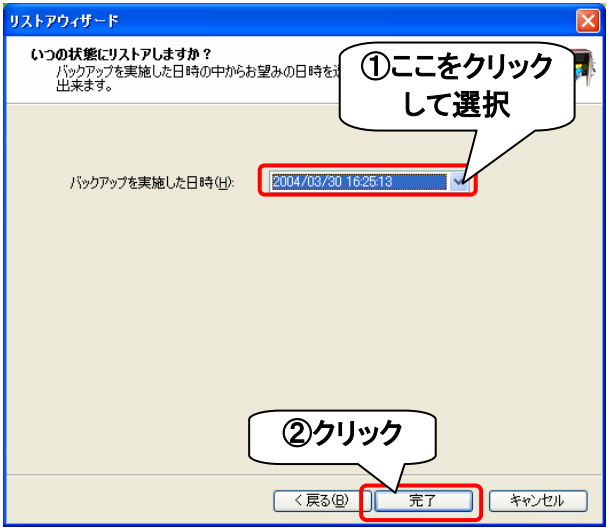
ここからは  （リストア）でのリストアの手順について説明します。

1 リストアするファイルやフォルダを確認後、クリックし、[次へ]をクリックします。



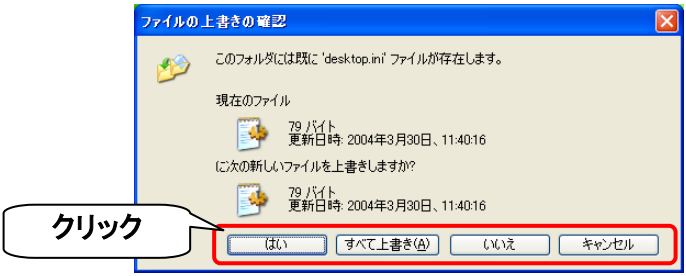
2 バックアップした日時の中からお好みの日時を選択し、[完了]をクリックします。選択した日時の状態にリストアします。

→リストアを開始します。



3 リストア先にすでにファイルがある場合は、以下の画面が表示されます。

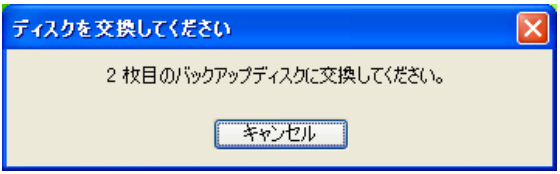
上書きする場合は[はい]を、しない場合は[いいえ]をクリックします。[すべて上書き]をクリックするとすべてのファイルを上書きします。[キャンセル]をクリックするとリストアを中断します。



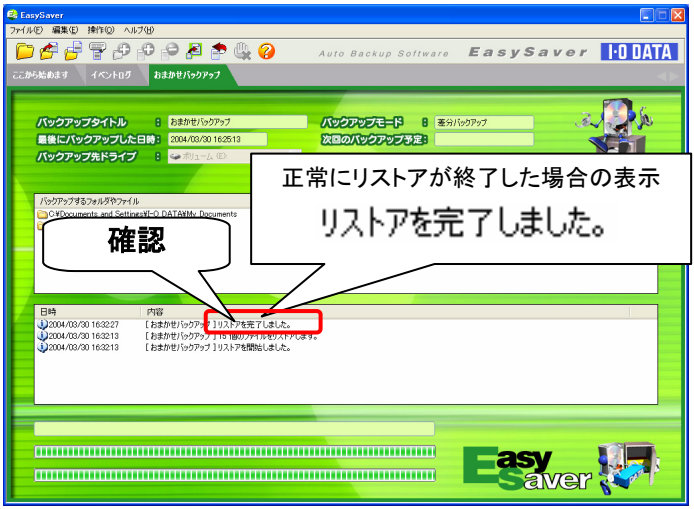
4 複数のメディアにバックアップしていた場合は、以下の画面が表示されます。

2番目以降にバックアップしたメディアにバックアップした順に交換してください。

交換後、リストアを続行します。



5 リストアが正常に終了すると、画面下に「リストアを完了しました。」と表示されます。



以上でリストアは終了です。

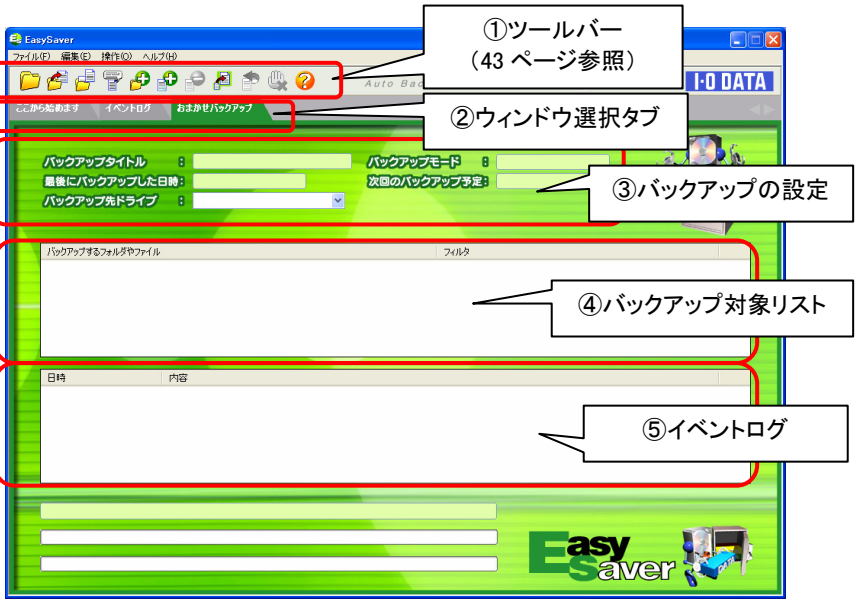
注意！

正常にリストアが終了しない場合、リストア対象のファイルやフォルダが他のアプリケーションなどで使用されている可能性があります。そのような場合は、使用しているアプリケーションを終了して再度リストアを行ってください。

ふろく

バックアップジョブの画面について……41
EasySaver の削除……44
困ったときには……45

バックアップジョブの画面について



①ツールバー

EasySaver を使用する際によく使われるコマンドがアイコンとして表示されており、アイコンをクリックする事でそのコマンドを実行する事ができます。

現在使用できるアイコンはカラーで、使用できないアイコンはグレーで表示されます。

②ウィンドウ選択タブ

「ここから始めます」「イベントログ」「ジョブウィンドウ」などのウィンドウの内、どのウィンドウを表示するかを選択するためのものです。

タブには各ウィンドウの名前が表示されていますので、表示したいウィンドウのタブをクリックする事で、そのウィンドウを表示する事ができます。

現在表示されているウィンドウのタブは緑色で表示されます。

複数のジョブウィンドウを開いて、タブをウィンドウ内に表示し切れななったばあいには、右端の ◀ ▶ をクリックする事でウィンドウ内に表示するタブを切り替える事ができます。

③バックアップの設定

このバックアップジョブの基本的な設定などがここに表示されます。

④バックアップ対象リスト

このバックアップジョブがバックアップの対象とするフォルダやファイルがここに表示されます。

バックアップしたいフォルダやファイルを登録する場合には、このウィンドウに直接ドラッグアンドドロップする事もできます。

⑤イベントログ

このバックアップジョブのバックアップやリストア処理中の処理の内容や、発生したエラーなどがここに表示されます。

ツールバー

EasySaver を使用する際によく使われるコマンドがアイコンとして表示されており、アイコンをクリックする事でそのコマンドを実行する事ができます。現在使用できるアイコンはカラーで、使用できないアイコンはグレーで表示されます。

	新規バックアップジョブ	新規に空のバックアップジョブを作成します。
	バックアップジョブを開く	既存のバックアップジョブを開きます。
	バックアップジョブを保存する	現在表示されているバックアップジョブを保存します。
	バックアップジョブのプロパティ	現在表示されているバックアップジョブの設定を変更します。
	バックアップ対象フォルダの追加	現在表示されているバックアップジョブに、バックアップ対象のフォルダを追加します。
	バックアップ対象ファイルの追加	現在表示されているバックアップジョブに、バックアップ対象のファイルを追加します。
	バックアップ対象ファイルの削除	バックアップ対象リストで選択されているバックアップ対象フォルダ／ファイルを、バックアップ対象リストから削除します。
	バックアップ	現在表示されているバックアップジョブでバックアップを開始します。
	リストア	現在表示されているバックアップジョブでリストアを開始するためのリストアウィザードを表示します。
	中止	現在表示されているバックアップジョブで実行中のバックアップ／リストアを中止します。
	ヘルプ	EasySaver のヘルプウィンドウを表示します。

EasySaver の削除

インストールした EasySaver の削除方法について説明します。

1 スケジュールバックアップ機能を有効にしている際は、
[ファイル]メニュー→[EasySaverの終了]
でEasySaverを終了してください。



2 [スタート]→([設定]→)[コントロールパネル]の順にクリックし、
[コントロールパネル]を開きます。

3
・Windows XPの場合
　[プログラムの追加と削除]をクリックします。
・Windows 2000/Me/98の場合
　[アプリケーションの追加と削除]アイコンをダブルクリックします。

4
・Windows XP/2000の場合
　[EasySaver]をクリックし、[変更と削除](または[変更/削除])ボタンをクリックします。
・Windows Me/98の場合
　[EasySaver]をダブルクリックします。

5 [OK]ボタンをクリックします。

6 [完了]ボタンをクリックします。

以上で、インストールした EasySaver の削除が完了します。

困ったときには

バックアップ時にエラーが発生する

原因	他のアプリケーションなどが、バックアップ対象のファイルを使用している可能性があります。
対処	バックアップ時は、バックアップ対象のファイルを使用するアプリケーションを全て終了させてください。



参考

一部のアプリケーションでは、使用中のファイルを他のアプリケーションから読み取られないようにロックする場合があり、そのようなファイルはバックアップする事ができません。
常時起動しているアプリケーションなどが使用するファイルを含むフォルダをバックアップしたい場合には、そういったファイルをスキップする事ができます。
詳しくは、次ページ[バックアップ中にスキップする設定]を参照してください。

リストア時にエラーが発生する

原因	リストア先に同じ名前のファイルが存在する場合の上書き確認画面で、[すべて上書き]を選択すると、「アクセスが拒否されました」というエラーが発生する場合があります。
対処	[すべて上書き]ボタンを使用せず、[はい]をクリックして先へ進むようにしてください。

バックアップモードを変更できない

原因	一度バックアップを実施した後は、バックアップモードは変更できません。

バックアップ中にスキップする設定

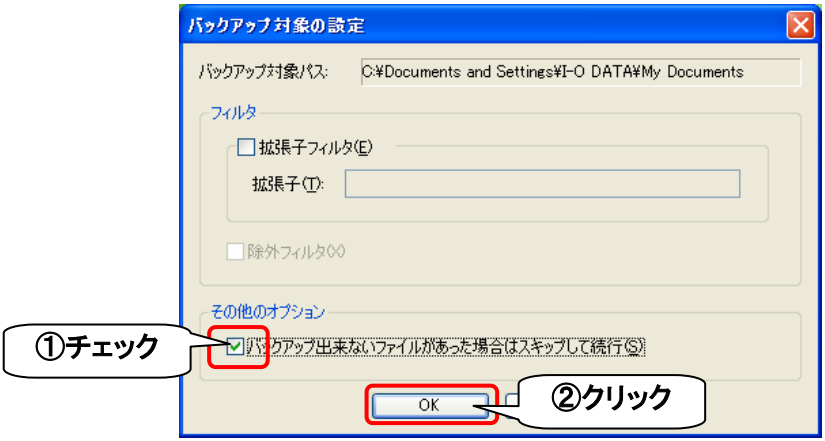
一部のアプリケーションでは、使用中のファイルを他のアプリケーションから読み取られないようにロックする場合があり、そのようなファイルはバックアップする事ができません。
常時起動しているアプリケーションなどが使用するファイルを含むフォルダをバックアップしたい場合には、以下の手順でそういったファイルをスキップする事ができます。

1 【バックアップジョブを開く】(28ページ)の手順で、バックアップが正常にできないバックアップジョブを開きます。

2 バックアップ対象リストでスキップを設定するファイルを選択後、メニューの[編集]→[バックアップ対象のプロパティ]をクリックします。



3 [バックアップ出来ないファイルがあった場合にはスキップして続行]をチェックし、[OK]をクリックします。



バックアップ出来ないファイルがあった場合にはスキップして続行	このチェックボックスをチェックすると、バックアップ中に、バックアップできないファイルが見つかった場合でも、エラー終了せずにそのファイルをスキップしてバックアップを続行するようになります。

4 （バックアップ）で正常にバックアップできることをご確認ください。

お問い合わせ

本製品に関するお問い合わせはサポートセンターで受け付けています。

① 弊社ホームページをご確認ください。

本書【困ったときには】で解決できない場合は、サポート Web ページもご覧ください。過去にサポートセンターに寄せられた事例などが紹介されていますのでご参考ください。

http://www.iodata.jp/support/

製品Q＆A
News など

本ソフトをバージョンアップすることで解決できる場合があります。下記の弊社サポート・ライブラリから最新のソフトをダウンロードしてお試しください。

http://www.iodata.jp/lib/

最新ソフト

② それでも解決できない場合は…

住所： 〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
アイ・オー・データ第２ビル
株式会社アイ・オー・データ機器 サポートセンター

電話： 本社…**076-260-3367** 東京…**03-3254-0340**
※受付時間 9:30～19:00 月～金曜日（祝祭日を除く）

FAX： 本社…**076-260-3360** 東京…**03-3254-9055**

インターネット： http://www.iodata.jp/support/

・お知らせいただく事項について

サポートセンターへお問い合わせいただく際は、事前に以下の事項をご用意ください。

1. ご使用の製品名
2. ご使用のパソコン本体の型番
3. ご使用のOSと本ソフトのバージョン
4. トラブルが起こった状態、トラブルの内容、現在の状態（画面の状態やエラーメッセージなどの内容）

【ご注意】

1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。
したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2) 本サポートソフトウェアに含まれる著作権等の知的財産権は、お客様に移転されません。
3) 本サポートソフトウェアのソースコードについては、如何なる場合もお客様に開示、使用許諾を致しません。また、ソースコードを解明するために本ソフトウェアを解析し、逆アセンブルや、逆コンパイル、またはその他のリバースエンジニアリングを禁止します。
4) 書面による事前承諾を得ずに、本サポートソフトウェアをタイムシェアリング、リース、レンタル、販売、移転、サブライセンスすることを禁止します。
5) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関る設備や機器、及び海底中継器、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
6) 本製品及び本書の内容については、改良のために予告なく変更することがあります。
7) 本サポートソフトウェアの使用にあたっては、バックアップ保有の目的に限り、各1部だけ複写できるものとします。
8) お客様は、本サポートソフトウェアを一時に1台のパソコンにおいてのみ使用することができます。
9) お客様は、本製品または、その使用権を第三者に再使用許諾、譲渡、移転またはその他の処分を行うことはできません。
10) 弊社は、お客様が【ご注意】の諸条件のいずれかに違反されたときは、いつでも本製品のご使用を終了させることができるものとします。
11) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
12) 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により戦略物資等輸出規制製品に該当する場合があります。国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。
13)本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。

- I-O DATAは、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。
- Microsoft, Windowsは、米国 Microsoft Corporationの登録商標です。
- その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

EasySaver取扱説明書　2004.04.09
発 行　株式会社アイ･オー･データ機器
〒920-8512 石川県金沢市桜田町3丁目10番地

© 2004 I-O DATA DEVICE,INC. All rights reserved.
本製品及び本書は著作権法により保護されておりますので
無断で複写、複製、転載、改変することは禁じられています。